

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要項」

1.	役職	教授
2.	人数	1名
3.	配属予定部署	宇宙科学研究所 太陽系科学研究系
4.	就業場所	JAXA 相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1） ＜ 変更の範囲: 人事異動、組織改編等により業務の実施場所が変わる場合に機構が定める場所、機構規則に基づきテレワークを行う場合はその場所 ＞
5.	採用予定日	2026年10月1日以降なるべく早い時期
6.	契約期間	期間の定めなし
7.	試用期間	採用された日から6月間
8.	職務内容	太陽系科学にかかわる研究・開発および大学院教育
9.	職務内容（詳細）及び求める人物像	<p>JAXA 宇宙科学研究所・太陽系科学研究系では、「ダイナミックに変動する太陽圏システムの仕組みと影響を理解し、太陽系システムの過去から将来に渡る変遷を知ること」を目指す太陽圏システム科学と、「太陽系形成過程を物証に基づいて明らかにするとともに、太陽系における惑星材料物質の進化・移動過程を探る」ことを目指す惑星科学を、衛星・探査機データに基づく観測的研究、関連する理論的研究とそれら実現するための探査計画の企画と遂行、及び、新しい飛翔体搭載科学機器の開発を大学や所外の研究機関と連携しながら実施することで推進して来ました。近年、世界的には系外惑星の探査が急速に発展してきており、日本でも地上観測を中心に系外惑星探査が進められている他、NASA の Roman 宇宙望遠鏡や ESA の Ariel ミッションなど、海外の衛星による系外惑星探査への日本からの参加や赤外線位置天文観測衛星 JASMINE による系外惑星探査も計画されています。更に、NASA が主導する予定の大型系外惑星探査計画である HWO 衛星計画への日本からの参加に関する検討と、参加に向けての技術開発が本格的に始まろうとしています。</p> <p>今回募集する教授には将来の HWO 衛星計画への日本からの参加を含む衛星による系外惑星探査に向けて、系外惑星探査の中心的な手法である衛星搭載用光学観測機器に関わる技術開発を主導してその司令塔となることを期待する共に、技術的に共通性を持つ将来の重力天体着陸探査に向けた光学観測機器の技術開発も主導することを期待しています。</p>

		<p>さらに当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かして JAXA 内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。</p> <p>今回公募する教授の職務内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JAXA 宇宙科学研究所における、系外惑星探査衛星搭載用光学観測機器に関わる技術開発のリーダーとして技術開発研究を主導すると共に技術的に共通性を持つ将来の重力天体着陸探査に向けた光学観測機器の技術開発研究を主導すること。 ● 将来の国内外の衛星による系外惑星探査を機器開発の面から推進する事。 <p>このような業務に鑑み、今回募集する教授は、少なくとも次の条件を満たすものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 系外惑星探査を含む太陽系科学探査の観測装置開発の分野での高い学術実績と研究経験を有し、観測装置開発を通じて太陽系探査科学と系外惑星探査科学を推進する熱意を擁すること。 ● 世界の系外惑星探査衛星搭載用光学観測機器および重力天体着陸探査に向けた光学観測機器の開発状況を俯瞰して我が国独自の光学観測機器開発においてリーダーシップを発揮する能力を有すること。 ● 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有すること。 <p>< 変更の範囲 : 機構が定める業務の範囲 ></p>
10.	待遇	<p>(1) 給与 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。</p> <p>(2) 勤務時間 ・勤務は、原則として、専門業務型裁量労働制を適用する。 ・勤務時間は、始業午前 9 時 30 分～終業午後 5 時 45 分を基本とする。休憩時間は、1 日の労働時間が 6 時間を超える場合は</p>

		<p>45分、8時間を超える場合は1時間とする。なお、裁量労働制適用者は、上記に関わらず、1日のみなし勤務時間を7時間45分とする。</p> <p>・業務の都合により所定労働時間外勤務を命じることがある。</p> <p>(3) 休日 完全週休2日制（日曜日、土曜日）、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）、その他機構が必要と認めた場合に定める日等</p> <p>(4) 休暇 年次有給休暇、特別休暇（分べん、忌引、結婚、ワークライフバランス（WLB）等）、子の看護休暇、介護休業、育児休業等</p> <p>(5) 定年 65歳定年制</p> <p>(6) 保有・借上宿舎の貸与 業務の必要性、個別の事情及び空席状況により独身用または世帯用を用意（ただし、同一の宿舎に継続して入居できる期間は7年を限度とする）、又は機構の規定により住居手当を支給。</p> <p>(7) 社会保険 各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険等）</p>
11.	研究費	毎年度の予算状況に応じて決定される。（FY2025実績 教授80万円、准教授80万円、助教40万円）
12.	応募資格	博士号を有すること。
13.	提出書類	<p>(1) 履歴書</p> <p>(2) 研究歴およびその概要</p> <p>(3) 論文リスト（DOIを記載のこと）</p> <p>(4) 外部資金獲得実績（外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること）</p> <p>(5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む）</p> <p>(6) セクハラ・性暴力等を含む過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分等にかかる申告（様式任意、(1)への記載でも可。該当の有無及び該当有の場合はその内容）</p> <p>(7) 本人について意見を述べることができる方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス）</p> <p>(8) 主要論文の別刷り5編以内（査読付き学会誌に掲載されたものに限る）</p>
14.	提出方法	<p>【アップロード先】</p> <p>https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1774573798</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・提出書類はすべて PDF 形式で提出すること。 ・提出書類(2)～(6)は一つの PDF にまとめること。 ・郵送または持参での提出は、原則として受理できません。
15.	応募締切	<p>2026年6月3日正午（日本時間） 必着</p> <p>※Web 入力および全ての必要書類提出についての締切です。</p>
16.	選考方法	<p>選考は、宇宙科学運営協議会※にて行います。まず書類選考を実施し、書類選考を通過した方に面接をお願いする予定です。ただし、変更となる場合があります。</p> <p>※https://www.isas.jaxa.jp/about/organization/committee.html</p>
17.	問い合わせ先	<p>宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 太陽系科学研究系研究主幹 齋藤義文 教授 Email: saito.yoshifumi[at]jaxa.jp</p> <p>ただし、「14. 提出方法」に関しては下記へお問い合わせください。 科学推進部人事担当 E-mail: ISAS-JINJI[at]ml.jaxa.jp</p> <p>※メールアドレスの[at]は@に置き換えてください。</p>
18.	募集者名称	宇宙航空研究開発機構（JAXA）
19.	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された個人情報については、採用選考以外の目的には利用いたしません。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報について責任を持って破棄・消去いたします。 ・外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施のため、特定類型に関する申告書の提出が必要です。 申告内容に応じ、適正な業務遂行のために必要な兼業範囲の調整等の対応をとることがあります。 ・その他、教育職採用ページ※に記載の事項もございますので、こちらもよくご確認のうえ、ご応募ください。 <p>※https://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html</p>